

チアリーディング競技における脳振盪ベースライン評価に関する研究のお知らせ

帝京大学スポーツ医科学センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年06月15日～2028年03月31日

〔研究課題〕

チアリーディング競技における SCAT5 基準値

〔研究目的〕

競技チアリーディングは高所からの落下や衝突などにより脳振盪のリスクが高く、的確な予防と評価が求められています。しかし、国内における競技チアリーディングの疫学調査に関連する研究は限られています。そこで本研究では、大学生競技チアリーディング選手を対象に実施した、スポーツ脳振盪評価ツール(SCAT)によるベースライン評価の結果をまとめ、チアリーディング競技における脳振盪評価のための基礎資料とすることを目的とします。

〔研究意義〕

スポーツ脳振盪評価ツールを用いたベースライン評価の基準値を知ることは、チアリーディング競技においてスポーツ脳振盪が疑われた際に、医療従事者が診断や管理を行う上での重要な参照点となります。本研究の成果は、大学レベルの競技チアリーディング活動のみならず、ほかの年代における脳振盪管理への応用も期待できます。

〔対象・研究方法〕

対象者は以下の条件を全て満たす選手

- 1、本学チアリーディング部に所属
 - 2、ベースライン評価として SCAT5 または SCAT6 を実施した選手
- この研究のためだけに、新たに検査等を追加することはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学スポーツ医科学センター

〔個人情報の取り扱い〕

資料は加工を行い個人が特定できないようにします。資料はパスワードでロックされファイルとして外付け HDD に保存し、研究責任者、情報の取扱者及び責任者(松永悠希)および研究分担者(大塚玲香)のみのアクセス可能とします。研究期間終了後、研究に用いた資料は「帝京大学・帝京大学短期大学における研究データの保存等に関するガイドライン」に基づき、原則として、当該論文等の発表後 10 年間保管し、その後全て破棄されます。また、本研究で得られた情報は、将来別の研究に用いられる可能性があります。その際には、別途倫理申請を行います。

対象となる選手で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 松永悠希 職名 助教
所属: 帝京大学スポーツ医科学センター
住所: 東京都八王子市大塚 359 TEL: 042-690-5588 (代表)